

# とりがい秀夫の地域ニュース

南千住8-3-3-201電話&FAX (3807) 4811、平成20年

## 汐入地区

# 区税収入 3 倍増

5千億円の巨費を投じ日本で2番目の大きさの再開発を成し遂げた、汐入地区や3丁目、4丁目の再開発は単に人口が増えただけではなく、道路や公園、交通などのインフラ整備の向上や防災機能の向上、小中学校の学力向上等にも大きく寄与している。それらの機能の向上で住みやすさが広く認識され、近年になり新しい人たちも増えてきており、それらを裏付けるように区民税収入も大幅に伸びてきた。(納税義務者 15年—3,900人。20年—7,200人)

[下図参照] この街は今後も様々な計画があり、10月には区役所方面へのコミバス開設やつくばエクスプレスの東京駅延伸も数年後には着工との情報も視野に入ってきました。(10月か11月号で報告の予定)

今後も地元に住む議員として様々な提案を議会で行なっていきます。

区民税の課税額					
	荒川区 全体	駅東側 全体	8丁目	3丁目	4丁目
15年度	9 5 億 2 千万円	3 億 8 千 万 円	1 億 8 千 万 円	9 千万円	1 億 2 千万円
20年度	1 3 5 億 円	1 1 億 4 千 万 円	6 億 3 千 万 円	3 億円 1 千万	2 億円
	1, 4 倍	3 倍	3, 5 倍	3, 7 倍	1, 7 倍

# 都内ホームレス大幅減少 2600名、荒川区20名

バブル経済崩壊後、失業、廃業、倒産等厳しい経済状況の中で都市部を中心に路上生活者がふえ始め、平成11年には6,000名近くにもなった。それらの対策の為に平成12年に都と23区が「路上生活者自立支援事業」を開始。



南千住3丁目自立支援施設

現在、路上生活者の数は平成20年1月の調査では2,600人に減少している。多い区は台東区で430人、墨田区の334人。ちなみに荒川区は20名で汐入は無し。ホームレス対策は荒川区も平成17年から22年度まで路上生活者自立のための施設を白鬚橋際に設置し相談業務等を行ってきた結果、自立した生活者も出てきた。現在13名の生活者が入所している（この施設は23年から文京区へ移管）路上生活者自立支援事業は引き続き行なわれる。

## 〈特報〉

### コミバス汐入コース 10月31日出発 式典は別途発表

既に7月号で既報のとおり、コミュニティーバス汐入コースはルートや停留所、料金等、町会との調整も済み。10月に出発を待つばかりとなった。